

--	--	--	--	--

「ケアを担う子ども」への自治体政策の検証—

ヤングケアラー対応—実態にみる多機関連携の支援策

～ヤングケアラーの調査研究・先駆的取組みから自治体の支援計画・施策を構築する～

- 厚生労働省・文部科学省「ヤングケアラーの支援に向けた福祉・介護・医療・教育の連携プロジェクトチーム」報告にみる実態とヤングケアラー支援策
- 〔尼崎市・藤沢市〕ヤングケアラーの実態把握と支援組織、アプローチ手法、支援への取組み

2021年6月28日(月) 10:00～16:50

剛堂会館・会議室(東京・千代田区)

- 【講師陣】森田 久美子 氏 / 立正大学社会福祉学部社会福祉学科教授
ヤングケアラーの実態に関する調査研究検討委員会座長(2020年)
- 内尾 彰宏 氏 / 厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課虐待防止対策推進室長補佐
- 江上 昇 氏 / 尼崎市こども青少年局こども青少年部こども青少年課係長
- 山本 康子 氏 / 尼崎市こども青少年局こども青少年部こども青少年課
- 片山 睦彦 氏 / 藤沢市福祉部地域共生社会推進室主幹
ヤングケアラーへの早期対応に関する研究検討委員会構成委員(2019年)

《新型コロナウイルス感染症に伴うセミナー開催への対応について》

感染予防対策として会場の座席は間隔を十分にあげます。開始前に机・椅子を消毒する、換気する、アルコールで手指消毒をする等で安全・安心を徹底しますので、マスクの着用をお願いします。

- 会場：剛堂会館・会議室
東京都千代田区紀尾井町3-27
(案内図は申込後送付)
- 参加費(1名分)

	1名参加	メディア参加
行政・議員	25,000円	28,000円
一般	35,000円	38,000円
- 支払方法：請求後の振込・郵便振替・当日払い
みずほ銀行麹町支店 普通1159880
三井住友銀行麹町支店 普通7411658
三菱UFJ銀行神田支店 普通5829767
郵便振替:00110-8-81660 口座名: (株)地域科学研究会
- 申込方法：下記の申込書に所要事項を記入の上送付下さい
(FAX・郵送・メール等)
請求書等書類が不要の方は開催日までに上記口座へ振込をお願いします
(受講証/会場地図はFAX送信)。書類が必要な方には受講証と共に郵送します
ますので到着後にお支払いをお願いします。領収書が必要な方には当日
受付でお渡し致します(日付、但書等の留意点があれば明記下さい)。

①メディア参加申込みの方へは、研修会終了後にCD(講演収録・音声のみ)及び資料と請求書をお送りいたします。②参加費の払い戻しは致しませんので、申込まれた方のご都合が悪い場合は代理の方のご出席またはメディア参加とさせていただきます。

お申し込み・お問い合わせ

あすの街と村を考える

地域科学研究会

東京都千代田区平河町2-3-10ライオンズマンション平河町101
TEL03(3234)1231 FAX03(3234)4993 〒102-0082
http://chiikikagaku-k.co.jp/

【申込書】 FAX: 03-3234-4993 Email: machi@chiikikagaku-k.co.jp 2021年 月 日

■研修会 『ヤングケアラー対応—実態にみる多機関連携の支援策』 当日参加 メディア参加

勤務先 _____ 連絡担当者 _____

所在地〒 _____ TEL _____

参加者氏名 _____ 所属部課役職名 _____ FAX _____

_____ Email _____

〈通信欄〉○を付けて下さい
支払方法(請求後の振込・郵便振替・当日払い)
必要書類(納品書・請求書・見積書・領収書)

請求書等宛先名: _____

※ご記入いただいた個人情報は、当会の活動(セミナー・出版等の申込受付、連絡、請求、案内等)のみに使用させていただきます。

時	講 義 内 容
10:00 ～ 11:20	<p>1.「ケアを担う子ども」ヤングケアラーへの対応—自治体に求められる支援方策 ～ヤングケアラーの実態に関する調査研究の結果を踏まえて～</p> <p style="text-align: right;">立正大学社会福祉学部社会福祉学科教授 ヤングケアラーの実態に関する調査研究検討委員会座長(2020年) 森田 久美子氏</p> <p>1. ヤングケアラーとはどのような子どもか</p> <p>2. ヤングケアラーとその家族の支援ニーズ</p> <p>3. 自治体に求められる支援方策</p> <p style="text-align: right;">《質疑応答》</p> <p><small>【森田 久美子(もりた くみこ)氏プロフィール】専門は社会福祉学。立正大学社会福祉学部社会福祉学科助手、准教授等を経て、2018年より現職。ヤングケアラー支援に関する研究に取り組むほか、厚生労働省(2020年度)「ヤングケアラーの実態に関する調査研究検討委員会」座長、(一社)日本ケアラー連盟理事(ヤングケアラープロジェクト代表)等を務める。</small></p>
11:30 ～ 12:50	<p>2.ヤングケアラーの実態に関する調査研究の結果と支援に向けた取組み ～厚生労働省・文科省「ヤングケアラーの支援に向けた福祉・介護・医療・教育の 連携プロジェクトチーム」での議論を踏まえて～</p> <p style="text-align: right;">厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課虐待防止対策推進室長補佐 内尾 彰宏氏</p> <p>1. 平成30年度及び令和元年度におけるヤングケアラーに係る取組み (調査研究)</p> <p>2. 令和2年度ヤングケアラーの実態に関する調査研究の概要及びポイント</p> <p>3. ヤングケアラーの支援に向けた福祉・介護・医療・教育の連携PTについて</p> <p>4. 国における今後のヤングケアラー支援 ～「発見とつなぎ」と認知度向上～</p> <p style="text-align: right;">《質疑応答》</p> <p><small>厚生労働省と文部科学省は2021年3月に「ヤングケアラーの支援に向けた福祉・介護・医療・教育の連携プロジェクトチーム」を立上げ、2021年5月に実態と具体的支援策をまとめた。支援策には、自治体による実態調査の推進や多機関連携マニュアルの策定、SNS等を活用した相談体制整備、家事支援サービスの検討等を盛り込んだ。また、初の全国調査である「ヤングケアラーの実態に関する調査研究」の結果から、公立中学2年生の5.7%、公立全日制高校2年生の4.1%が家族のケアを担う実態が明らかになり、ヤングケアラー支援への取組みを始めている。</small></p>
13:50 ～ 15:20	<p>3.尼崎市におけるヤングケアラー支援と今後の展望 ～ヤングケアラー定例会・事例検討会の開催、インタビュー・アンケート調査等の取組み～</p> <p style="text-align: right;">尼崎市子ども青少年局子ども青少年部子ども青少年課 係長 江上 昇氏 山本 康子氏</p> <p>1. 尼崎市のヤングケアラーに関するこれまでの取組み</p> <p>2. 今後の取組みの方向性 (組織、支援制度)</p> <p>3. 尼崎市学びと育ち研究所における「エビデンスに基づく分析・研究」</p> <p>4. 事例検討会開催の手法と内容</p> <p>5. 「アセスメントと介入」—ヤングケアラーへのアプローチの手法</p> <p style="text-align: right;">《質疑応答》</p> <p><small>尼崎市では2018年度からシンポジウムやヤングケアラー定例会議・事例検討会を開催しているほか、インタビュー・アンケート調査等を実施し、ヤングケアラーへのアプローチ手法の開発と支援に取組んでいる。</small></p>
15:30 ～ 16:50	<p>4.〔藤沢市〕ケアを担う子ども(ヤングケアラー)に対する理解と支援</p> <p style="text-align: right;">藤沢市福祉部地域共生社会推進室主幹 ヤングケアラーへの早期対応に関する研究検討委員会構成委員(2019年) 片山 睦彦氏</p> <p>1. 関係機関への調査結果から ①教員 ②民生委員児童委員 ③CW・地域包括職員</p> <p>2. 支援方策と早期対応に向けたアセスメント ①当事者の声 ②多様な機関におけるアセスメント ③支援において留意すべき事項</p> <p>3. 藤沢市における包括的支援の取組み ①地域共生社会をめざす地域包括ケア ②地域におけるソーシャルワーク機能の強化 ③様々な困難を抱える子どもの支援</p> <p style="text-align: right;">《質疑応答》</p> <p><small>藤沢市は「藤沢市ケアを担う子ども(ヤングケアラー)についての調査<教員調査>」のほか民生委員・支援機関等への調査を実施し、ヤングケアラーの実態を把握し、支援の取組みを始めている。</small></p>